

**【基本目標③】**

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

関連データ

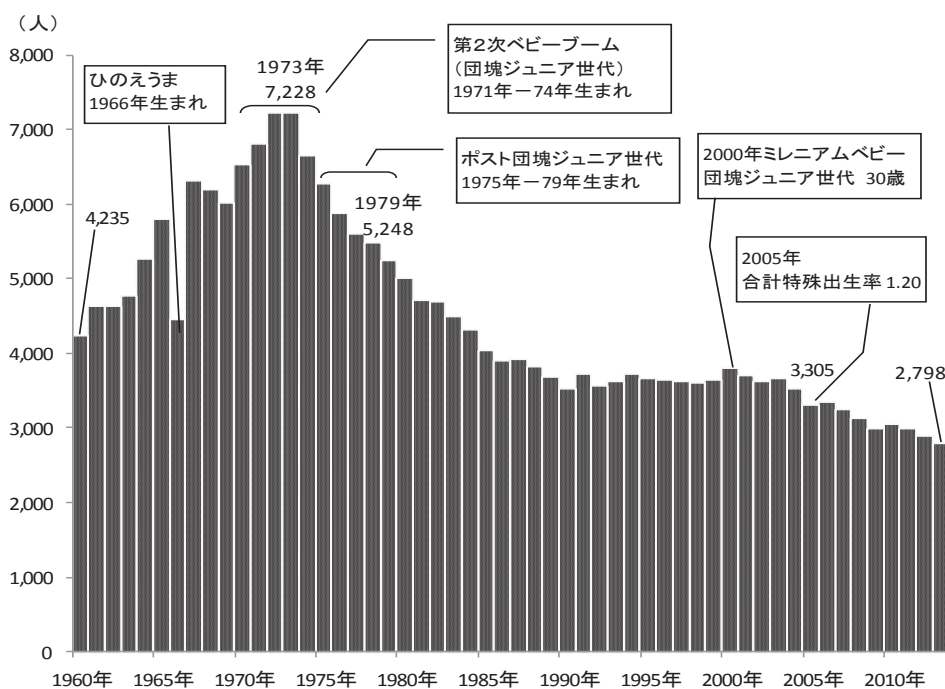
- 出産・子育て・教育関連データ



# 出産・子育て・教育関連データ

## 1 出生数の推移

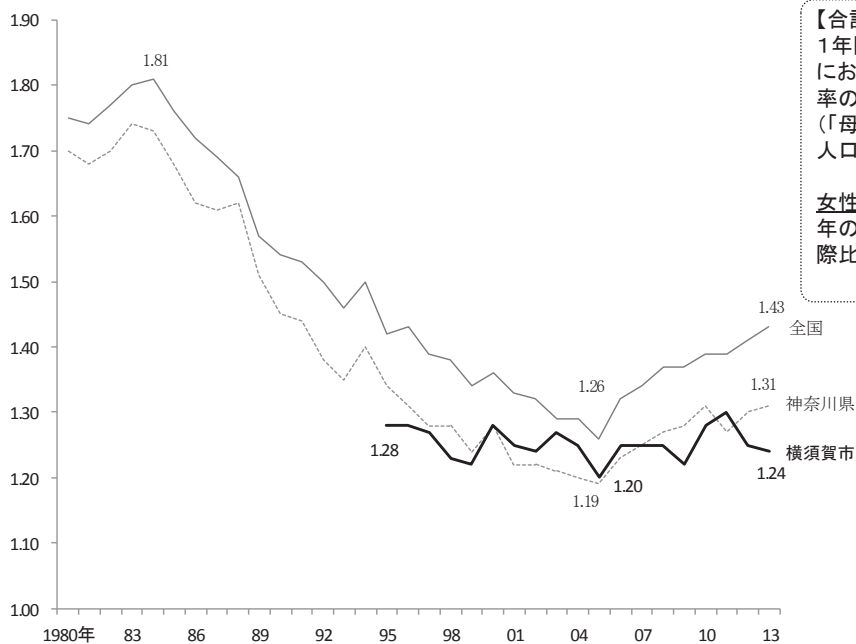
○ 出生数の減少（少子化）傾向が続いている



出所) 横須賀市「衛生年報」・横須賀市都市政策研究所「横須賀市の将来推計人口 (平成26年5月推計)」をもとに作成

## 2 合計特殊出生率の推移（全国・神奈川県・横須賀市）

○ 2005年（平成17年）を境に、全国の合計特殊出生率に回復傾向がみられるなか、本市の動向にその状況がみられない



【合計特殊出生率】  
1年間の出生状況に着目したもの。その年における各年齢（15歳から49歳まで）の出生率の合計値  

$$\left( \frac{\text{「母の年齢別年間出生数」}}{\text{「年齢別女性人口」}} \right) \times 15 \text{歳から} 49 \text{歳までの合計}$$

女性人口の年齢構成の違いを除いたその年の合計特殊出生率であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている

出所)厚生労働省「人口動態統計」および横須賀市「衛生年報」をもとに作成

## 3 合計特殊出生率の比較（2013年・県内市）

○ 県内市の中では、中位（19市中11番目）

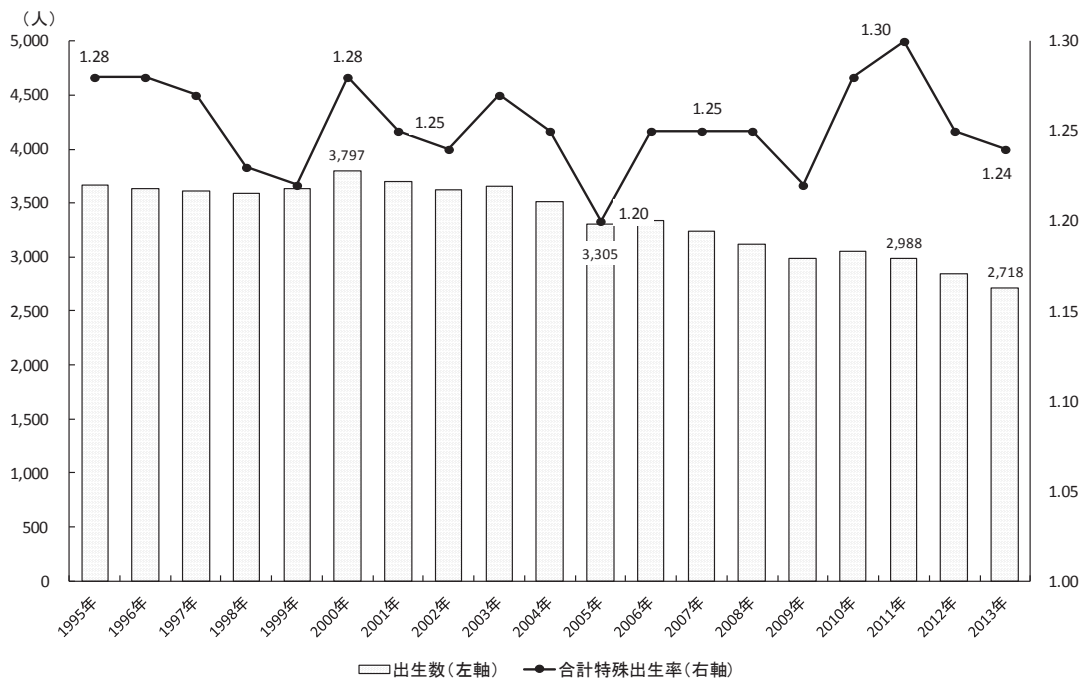
順位	市名	合計特殊出生率	順位	市名	合計特殊出生率
1	大和市	1.41	10	座間市	1.28
2	綾瀬市	1.41	<b>11</b>	<b>横須賀市</b>	<b>1.28</b>
3	茅ヶ崎市	1.41	12	厚木市	1.28
4	藤沢市	1.37	13	横浜市	1.27
5	逗子市	1.34	14	平塚市	1.25
6	伊勢原市	1.33	15	秦野市	1.25
7	海老名市	1.32	16	小田原市	1.24
8	川崎市	1.30	17	相模原市	1.24
9	南足柄市	1.29	18	鎌倉市	1.19
	神奈川県	1.28	19	三浦市	1.09
			参考	葉山町	1.24

注)  
前ページの合計特殊出生率とは、算出に用いた「年齢別女性人口」が異なるため、値が一致しない  
 前ページの「年齢別女性人口」:10月1日現在  
 ここでの「年齢別女性人口」:1月1日現在

出所)神奈川県「平成25年神奈川県衛生統計年報統計表」をもとに作成

## 4 合計特殊出生率と出生数の関係

○ 合計特殊出生率の上昇と出生数の増加は、単純には結び付かない

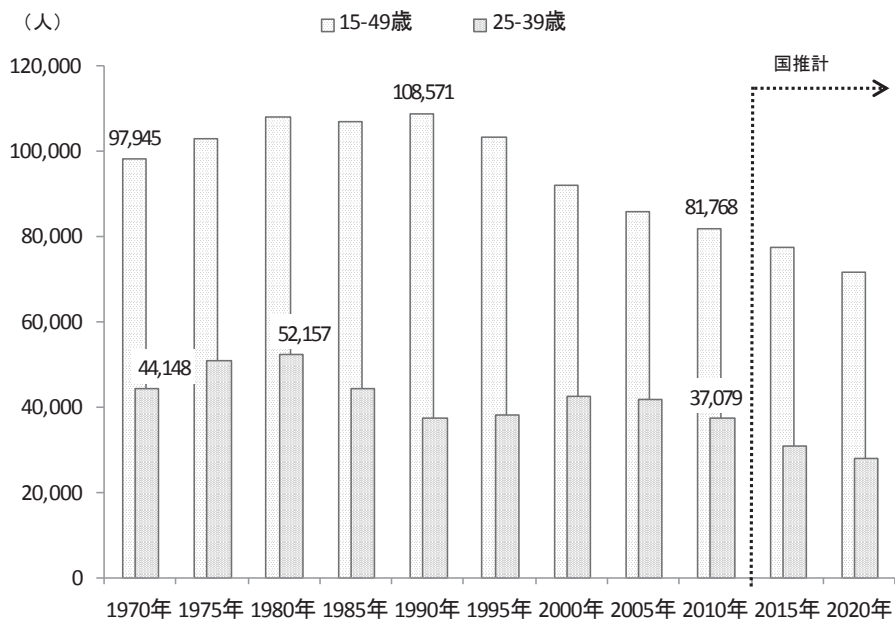


出所)横須賀市「衛生年報」をもとに作成

## 5 女性人口の推移（15-49歳及び25-39歳）

○ 15-49歳の女性人口は減少傾向が続いている

○ 出産の中心的な年齢とされる25歳-39歳の年齢層にも減少傾向がみられる



出所)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所推計をもとに作成

## 6 25～39歳女性人口割合

○ 25～39歳の女性の女性総数に占める割合が、県内他市区と比較して低い  
(42市区中39番目)

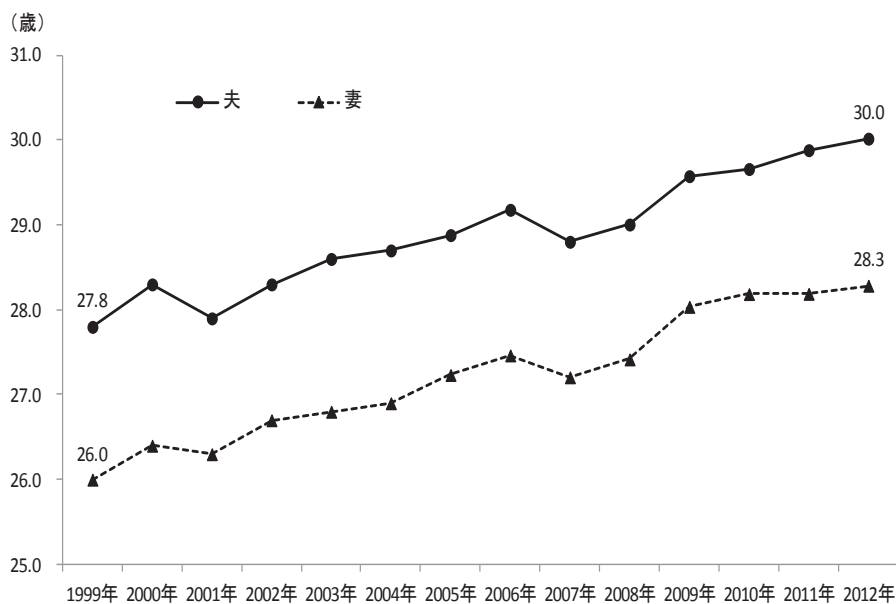
順位	市区名	25～39歳女性の 女性総数に占める割合	順位	市区名	25～39歳女性の 女性総数に占める割合
1	川崎市中原区	0.305	22	相模原市	0.212
2	川崎市高津区	0.276	23	厚木市	0.211
3	横浜市西区	0.264	24	綾瀬市	0.209
4	横浜市港北区	0.257	25	横浜市南区	0.207
5	川崎市多摩区	0.257	26	茅ヶ崎市	0.204
6	川崎市幸区	0.244	27	横浜市磯子区	0.200
7	横浜市神奈川区	0.242	28	横浜市栄区	0.199
8	川崎市宮前区	0.237	29	横浜市瀬谷区	0.198
9	横浜市鶴見区	0.233	30	横浜市港南区	0.197
10	川崎市川崎区	0.231	31	横浜市保土ヶ谷区	0.196
11	横浜市都筑区	0.227	32	平塚市	0.195
12	大和市	0.225	33	横浜市泉区	0.194
13	横浜市中区	0.223	34	横浜市金沢区	0.191
14	海老名市	0.222	35	秦野市	0.190
15	川崎市麻生区	0.215	36	横浜市旭区	0.188
16	横浜市緑区	0.215	37	小田原市	0.185
17	伊勢原市	0.214	38	鎌倉市	0.177
18	横浜市青葉区	0.213	<b>39</b>	<b>横須賀市</b>	<b>0.177</b>
19	座間市	0.213	40	南足柄市	0.177
20	横浜市戸塚区	0.212	41	逗子市	0.168
21	藤沢市	0.212	42	三浦市	0.147

神奈川県内市区、ただし、相模原市は市として算出

出所)総務省「国勢調査(2010年)」をもとに作成

## 7 平均初婚年齢の推移

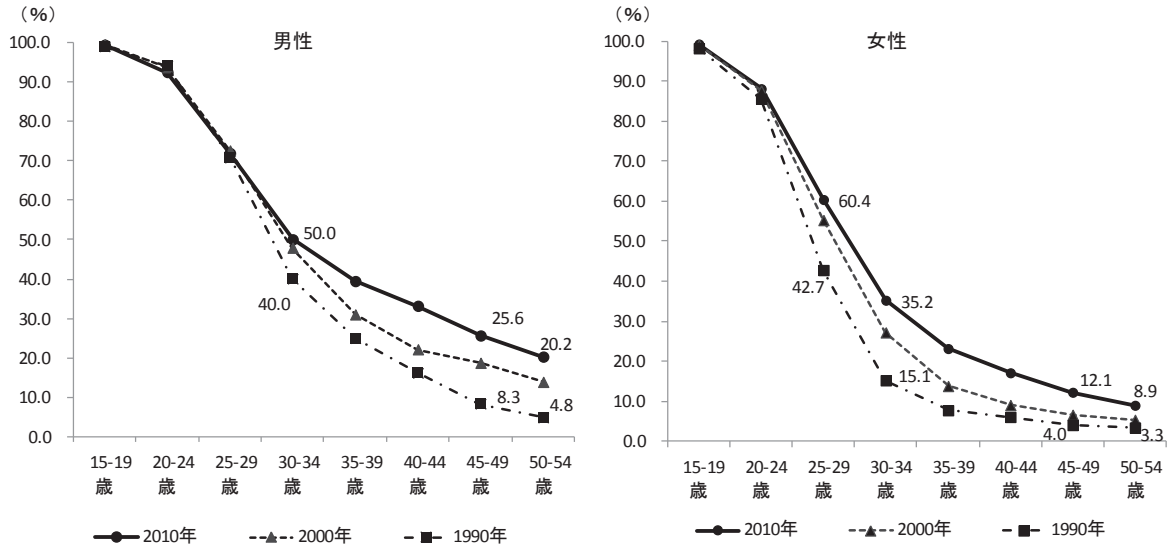
- 平均初婚年齢は夫・妻ともに上昇
- 初婚年齢の上昇は、夫婦の平均出生子ども数に影響を与える



出所)神奈川県「衛生統計年報」をもとに作成

## 8 年齢別未婚率の推移

- 男女ともに未婚率も上昇傾向がみられる。2010年の男性の30-34歳の未婚率は5割、女性の25-29歳の未婚率は6割
- 2010年の生涯未婚率（50歳時の未婚率）は、男性約2割、女性約1割



### 【生涯未婚率】

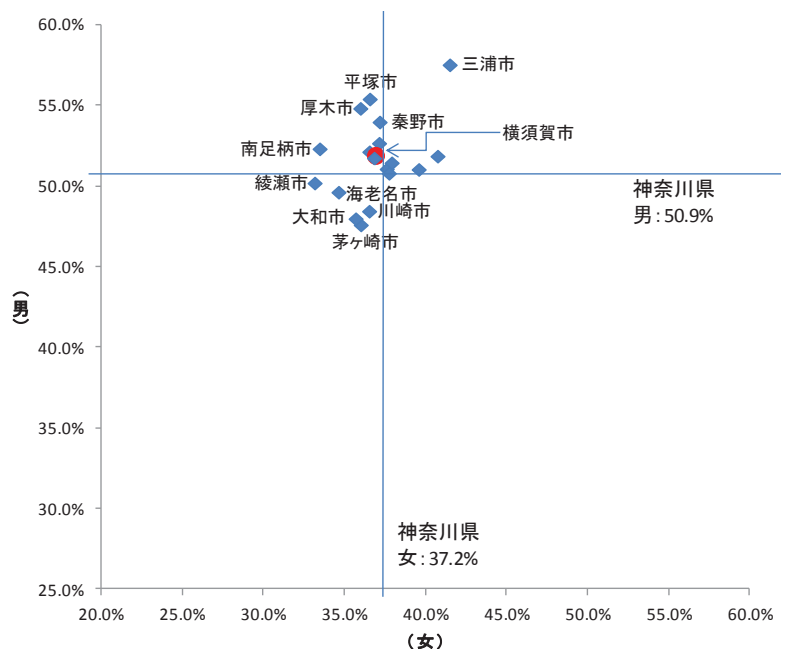
45～49歳と50～54歳未婚率の平均値から、50歳時の未婚率（結婚したことがない人の割合）を算出したもの

出所)総務省「国勢調査」をもとに作成

## 9 未婚率の比較（県内市・25-39歳男女）

- 男女ともに県内市の平均に位置する

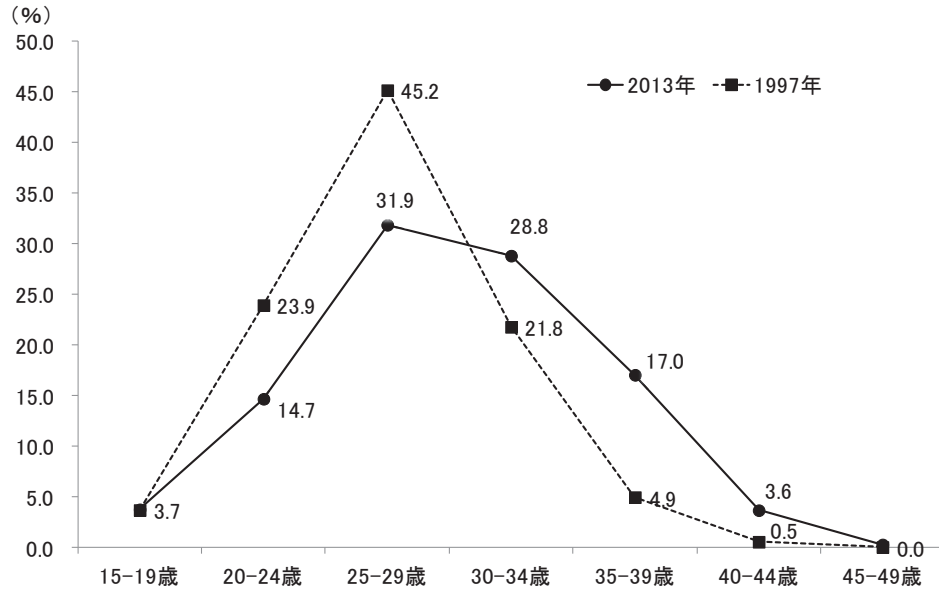
	男	女
神奈川県	50.9%	37.2%
横浜市	51.1%	37.7%
川崎市	48.5%	36.6%
相模原市	51.5%	38.0%
<b>横須賀市</b>	<b>51.9%</b>	<b>37.0%</b>
平塚市	55.4%	36.6%
鎌倉市	51.9%	40.8%
藤沢市	51.7%	36.9%
小田原市	50.8%	37.8%
茅ヶ崎市	47.6%	36.1%
逗子市	51.1%	39.6%
三浦市	57.5%	41.5%
秦野市	54.0%	37.2%
厚木市	54.8%	36.0%
大和市	48.0%	35.7%
伊勢原市	52.7%	37.2%
海老名市	49.6%	34.7%
座間市	52.1%	36.6%
南足柄市	52.3%	33.5%
綾瀬市	50.2%	33.2%



出所)総務省「国勢調査(2010)」をもとに作成

# 10 母の年齢階級別第1子出生児数の割合 (横須賀市1997年-2013年比較)

○ 第1子出産年齢の中心は25-29歳であることに違いはみられないものの、その割合は低下し、30歳代にシフトしている様子がうかがえる

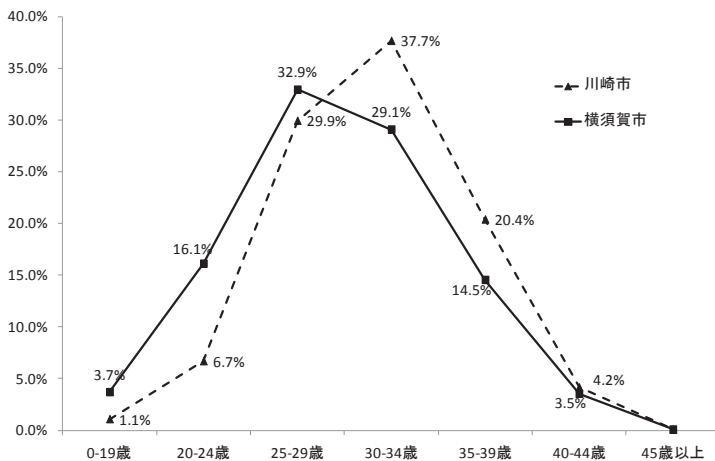


出所)総務省「国勢調査」をもとに作成

# 11 第1子出生児数の割合・出生順位別割合

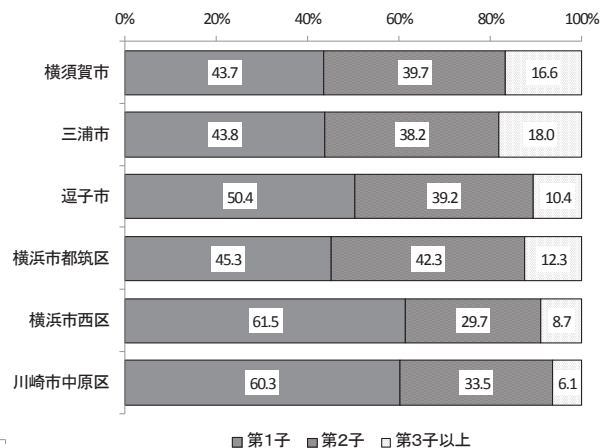
○ 第1子出産の中心となる年齢層に違いがみられる。特に20歳代前半で大きな違いがある(川崎市との比較)  
○ このことが、第2子以上の出生割合に影響しているものと考えられる

<母の年齢階級別第1子出生児数の割合(2012年・川崎市)>



出所)総務省「国勢調査」をもとに作成

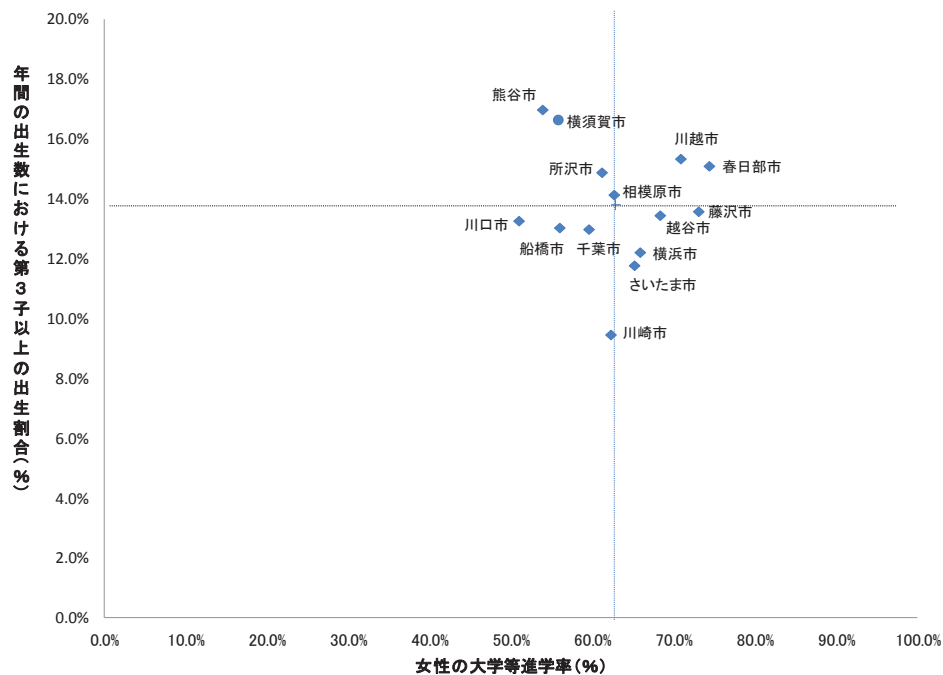
<出生順位別割合(2012年)>





# 【参考】第3子以上の出生数割合と女性の進学率

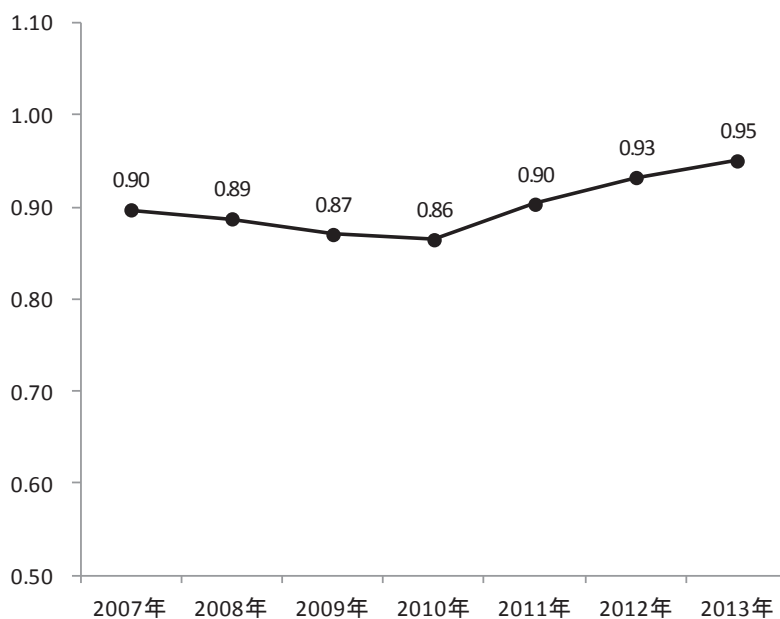
(神奈川県・千葉県・埼玉県の保健所設置市等での比較)



出所) 総務省「平成26年度学校基本調査」、「大学等」は大学、短期大学の本科、別科、専攻科  
 船橋市出生数「平成26年度保健所事業所年報」より(ただし、平成24年の数値)  
 千葉市出生数「平成25年度千葉市保健統計」(平成25年)  
 埼玉県各市の出生数「埼玉県保健統計年報」(平成25年)  
 神奈川県各市の出生数「各市衛生年報」

## 12 市内の分娩割合 <参考値> (分娩数／出生数)

○ 市民が全て市内の病院等で分娩したと仮定すると、市内分娩の充足率は、回復傾向がみられる

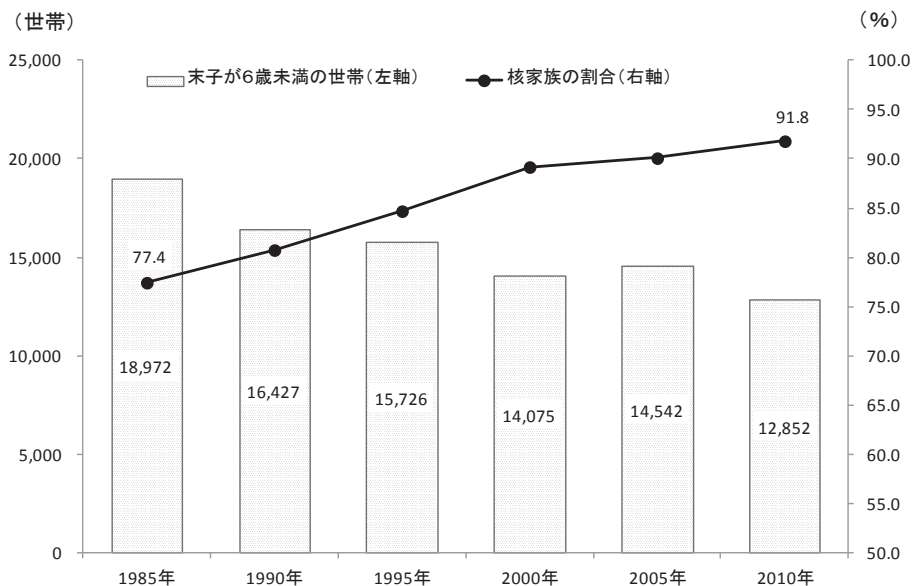


注) 分娩数(年度)／出生数(年次)で算出  
 傾向をみるための参考

出所) 横須賀市健康部資料・横須賀市「衛生年報」をもとに作成

## 13 末子が6歳未満の世帯のうち核家族世帯の割合の推移

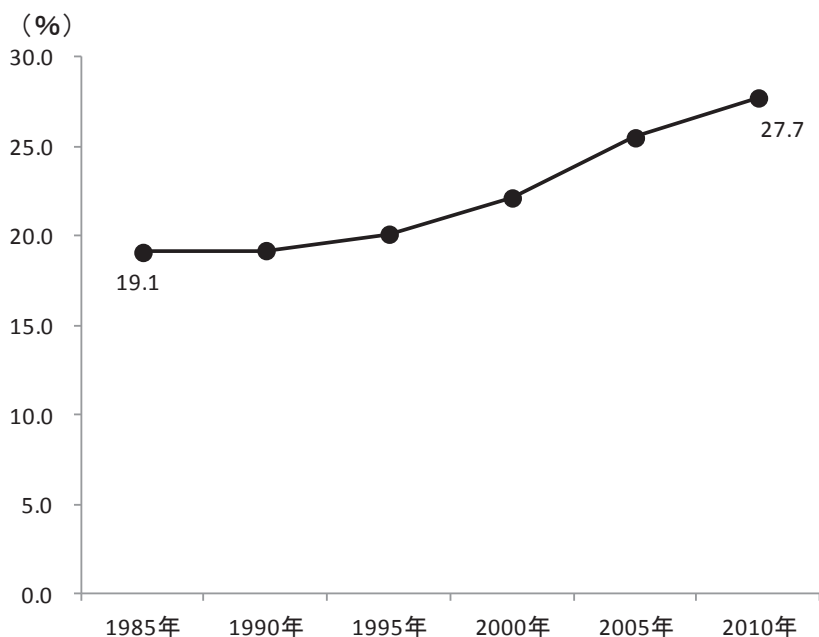
- 世帯数は少子化の傾向を反映し、減少傾向が続いている
- このうち核家族の割合は増加傾向が続き、2010年に91.8%に上っている



出所)総務省「国勢調査」をもとに作成

## 14 核家族世帯の共働き率の推移 (末子が6歳未満)

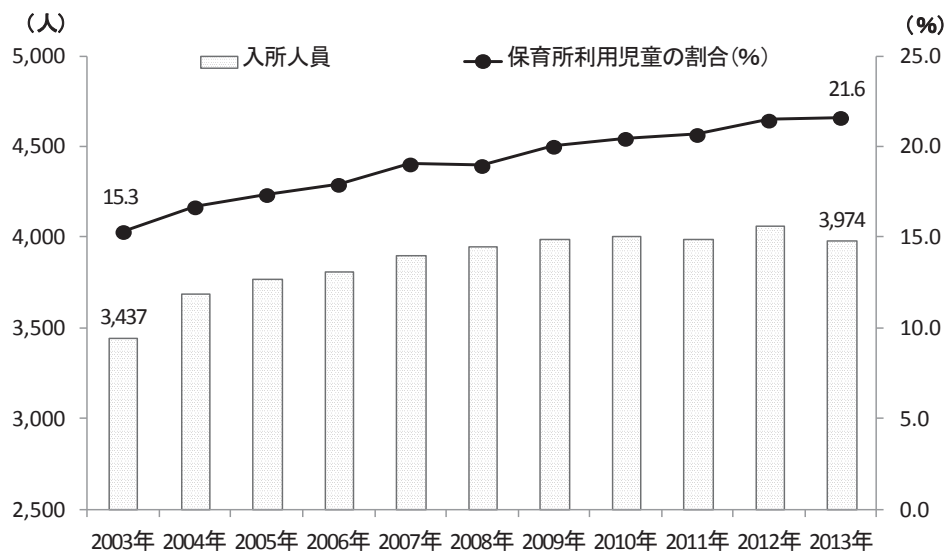
- 末子が6歳未満の核家族世帯の共働き率は年々増加傾向がみられ、直近の2010年では約3割まで上昇している



出所)総務省「国勢調査」をもとに作成

## 15 保育所利用率の推移

○ 子どもがいる共働き世帯が増加傾向にあることなどから、入所人員、保育所利用率ともに増加傾向がみられる

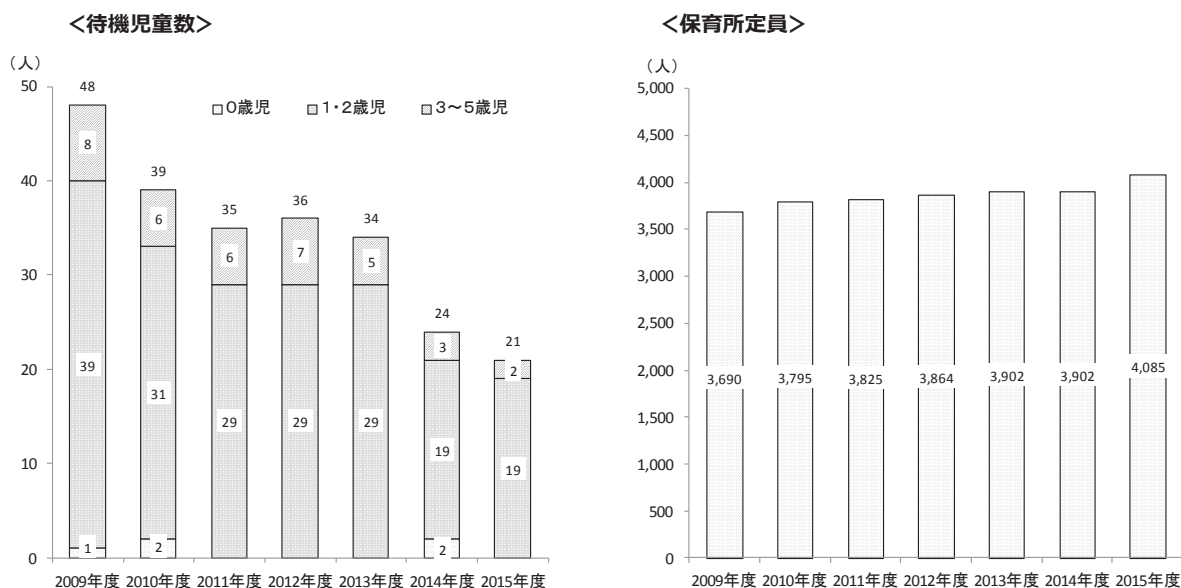


「保育所利用率」＝「入所人員」÷「0-5歳のこどもの数」×100

出所)横須賀市「横須賀市統計書」・横須賀市「住民基本台帳」をもとに作成

## 16 待機児童数と保育所定員の推移 (各年4月1日現在)

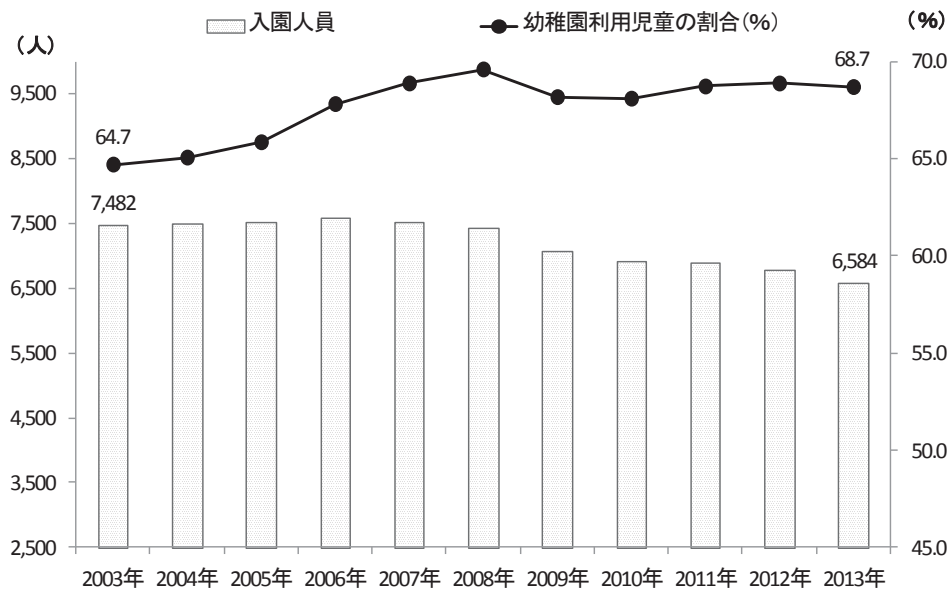
○ 待機児童数は減少傾向。年齢別にみると、各年度ともそのほとんどが1・2歳児



出所)横須賀市(2015)「横須賀子ども未来プラン(平成27年度～平成31年度)」、こども育成部資料をもとに作成

## 17 幼稚園利用率の推移

○ 入園人員は減少傾向にある中、利用状況に大きな変化はみられない

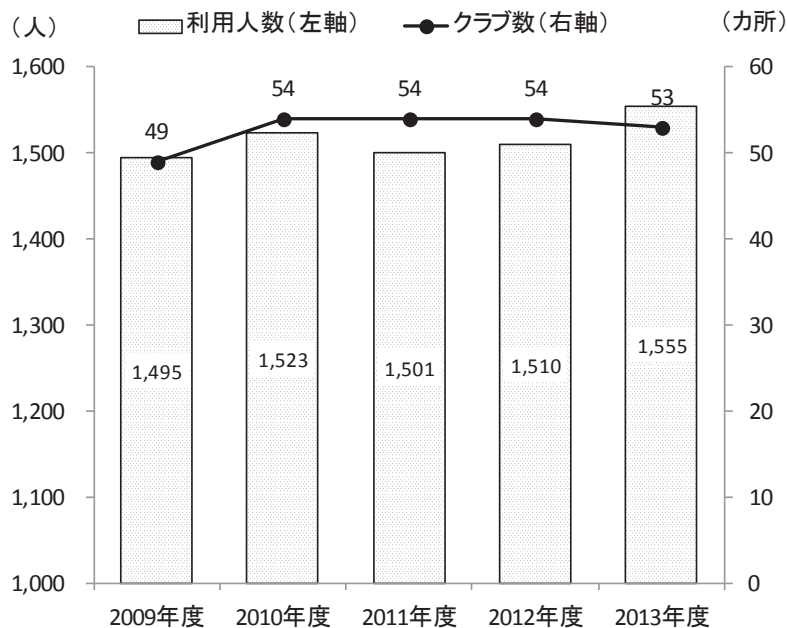


「幼稚園利用率」＝「入園人員」÷「3-5歳のこどもの数」×100

出所)横須賀市「横須賀市統計書」・横須賀市「住民基本台帳」をもとに作成

## 18 学童クラブの利用状況

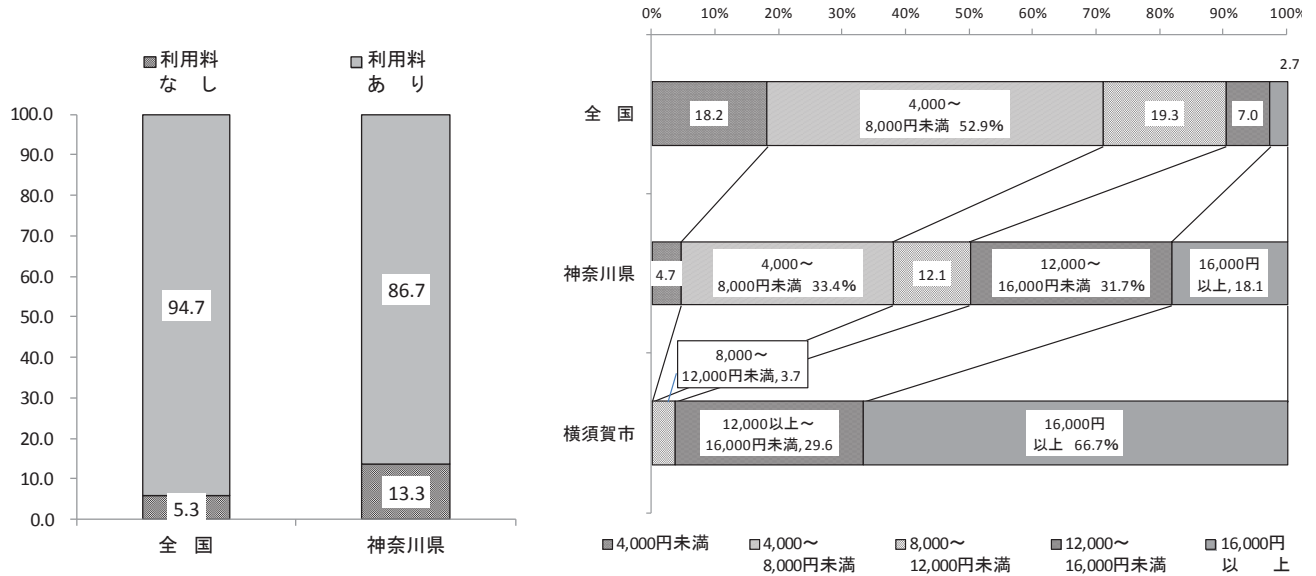
○ 利用者は緩やかに増加傾向にある一方、クラブ数は近年横ばい



出所)横須賀市(2015)「横須賀子ども未来プラン(平成27年度～平成31年度)」をもとに作成

## 19 学童クラブの利用料金比較

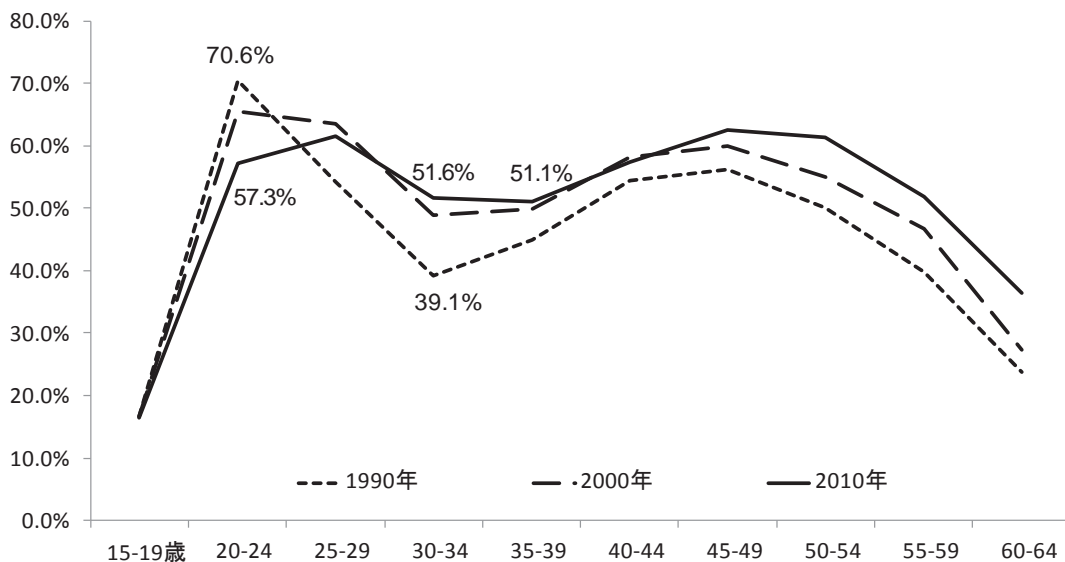
- 利用料金のない自治体は少数
- 本市のクラブは全て民設民営のため、利用料金の高いクラブの割合が多い  
また、全国でみると8,000円未満/月のクラブが大半を占めている中で、本市にはそのようなクラブの存在がない



出所)厚生労働省「平成23年度地域児童福祉事業等調査」をもとに作成

## 20 女性の就業比率推移 (年齢5歳階級別) (1990年・2000年・2010年)

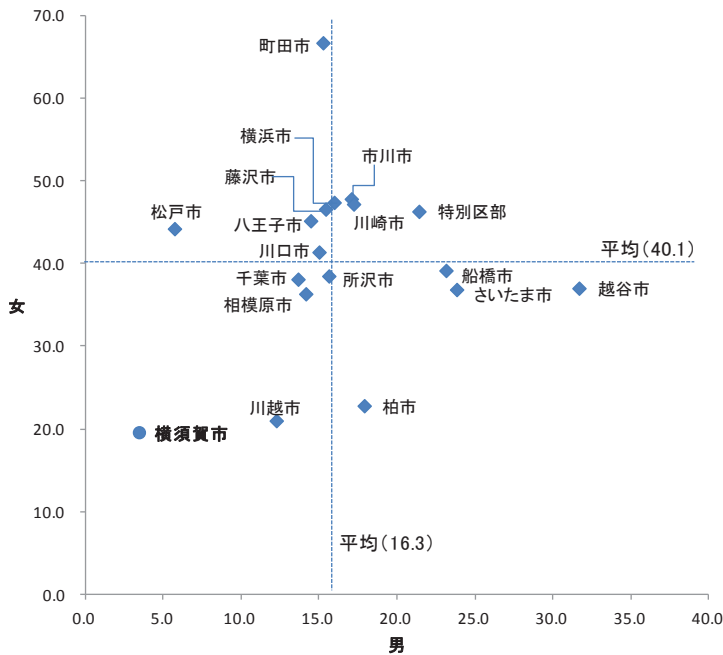
- 30歳代については、結婚・出産期にあたり就業率が一旦低下することが一般に知られている近年、全国的にもその低下が抑制されていることが認識されているが、本市でも同様な傾向がみられる



出所)総務省「国勢調査」をもとに作成

## 21 育児休業等の制度利用状況比較 (首都圏人口30万人都市・15歳以上男女)

○ 男女ともに低い状況で、特に男性の利用状況は5%に満たない



注)

居住地ごとの有業者で「育児をしている人」のうち、育児休業等制度を利用している人の割合。

「育児をしている」とは

未就学児(小学校入学前の幼児)を対象とした育児をいい、以下のようなことを指す。ただし、孫やおい・めい、弟妹の世話などはこれに含まない。

なお、ふだん育児をしているかはつきり決められない場合は、便宜、1年間に30日以上育児をしている場合を「ふだん育児をしている」とする。

- ・乳児のおむつの取り替え
- ・乳幼児の世話や見守り
- ・就学前の子どもの送迎、つきそい、見守りや勉強・遊び・習い事などの練習の相手
- ・就学前の子どもの保護者会への出席

出所)総務省「平成24年就業構造基本調査」をもとに作成

## 22 育児休業等の制度別の利用状況比較

(育児をしている雇用者数が近似している自治体比較)

○ 育児休業制度の利用割合が低い

	育児をしている雇用者						育児休業等制度の利用なし (%)
	(人)	(%)	育児休業制度の利用あり (%)	短時間勤務制度の利用あり (%)	子の看護休暇制度の利用あり (%)	その他の制度の利用あり (%)	
所沢市	16,800	25.6	19.0	4.8	1.2	1.8	74.4
越谷市	17,300	38.2	19.7	3.5	9.8	6.9	58.4
横須賀市	17,000	11.8	7.1	1.8	0.6	2.9	88.2
藤沢市	16,400	28.0	15.9	7.3	0.6	6.7	72.0

<育児休業等制度の種類>

【育児休業】

子が1歳になるまでの育児休業制度

【短時間勤務】

3歳未満の子の育児のために、1日の所定労働時間を短縮したり、週又は月の所定労働日数や時間を短縮したりする制度(隔日勤務、特定の曜日だけの勤務等の制度を含む。)

【子の看護休暇】

小学校就学前の子の病気・けがによる看護のために、1人につき、1年に5日まで取得できる休暇制度

【その他】

上記のいずれにも当てはまらない勤め先(企業)独自の制度など

出所)総務省「平成24年就業構造基本調査」をもとに作成

## 23 「くるみん認定」企業数（神奈川県内）



（次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主）

- 横浜市、川崎市に次いで、認定事業者数が多い

### 認定企業一覧(神奈川県労働局)

本社所在地	企業数	備考
横浜市	33	2回目が9社、3回目が3社
川崎市	16	2回目が2社、3回目が2社
横須賀市	4	2回目が1社
平塚市	1	
藤沢市	1	
厚木市	1	
大和市	2	2回目が1社
二宮町	1	
箱根町	1	
愛川町	1	
計	66	
東京移転	5	認定後、東京へ移転したもの
合計	66	

### 横須賀市(本社所在地)の認定企業

湘南信用金庫
東京ガスライフバル飯田株式会社 【2回目認定】
株式会社ニフコ （2015.1に横浜市戸塚区から移転）
かながわ信用金庫

注)

次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定した企業のうち、行動計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができる。

認定を受けた企業は、次世代認定マーク(愛称:くるみん)を広告、商品等に表示し、次世代育成対策に取り組んでいることをアピールできる。

(行動計画の内容)

- 仕事と家庭の両立支援のための雇用環境の整備
- 働き方の見直しに資する労働条件の整備等

出所) 神奈川県労働局「神奈川県労働局における認定企業名一覧(平成27年6月23日現在)」をもとに作成

# 24 全国学力・学習状況調査 教科別平均正答率結果（平成26年度）

○ 小学校（国語・算数）、中学校（国語・数学）ともに「全国」「神奈川県」より正答率が低い

【小学6年生】 (%)	国語		算数	
	A問題	B問題	A問題	B問題
横須賀市	66.6	50.0	74.4	53.1
神奈川県	71.3	54.6	76.9	58.6
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

【中学3年生】 (%)	国語		数学	
	A問題	B問題	A問題	B問題
横須賀市	78.1	49.4	65.4	58.9
神奈川県	79.2	51.5	67.0	60.8
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

A問題:主として「知識」に関する問題  
身に付けておかなければ後の学年等の学  
習内容に影響を及ぼす内容

B問題:主として「活用」に関する問題  
様々な課題解決のための構想を立て、実  
践し、評価・改善する力

出所)横須賀市教育委員会「平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要について」をもとに作成

## 【参考】全国学力・学習状況調査 児童生徒に対する質問紙調査（平成26年度）

### ※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

#### <小学校6年生>

##### 〔90%以上が肯定的な回答をした項目〕

- 朝食を毎朝食べる
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 家で学校の宿題をしている
- 人の気持ちが分かる人間になりたい
- いじめはどんな理由があってもいけない
- 人の役に立つ人間になりたい

##### 〔課題とみられる項目〕

##### \*全国平均と比較し、5%以上の差（低い）がある項目

- 毎日、同じくらいの時間に寝ている
- 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している
- 友達に伝えたいことをうまく伝えられる
- テレビゲーム（コンピュータ、携帯型）をする時間が1時間より少ない
- 平日の勉強時間が1時間以上である
- 休日の勉強時間が2時間以上である
- 図書館へ週1回以上行く
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている
- 家で、学校の授業の予習をしている
- 家で、学校の授業の復習をしている
- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 国語の授業に内容はよく分かる
- 読書は好きである

#### <中学校3年生>

##### 〔90%以上が肯定的な回答をした項目〕

- 朝食を毎朝食べる
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる
- 学校の規則を守っている
- 人の気持ちが分かる人間になりたい
- いじめはどんな理由があってもいけない
- 人の役に立つ人間になりたい

##### 〔課題とみられる項目〕

##### \*全国平均と比較し、5%以上の差（低い）がある項目

- 毎日、同じくらいの時間に寝ている
- 友達に伝えたいことをうまく伝えられる
- テレビゲーム（コンピュータ、携帯型）をする時間が1時間より少ない
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている
- 家で、学校の授業の復習をしている
- 読書は好きである

出所)横須賀市教育委員会「平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要について」をもとに作成



## 25 私立小学校の立地状況 (主要駅から30分圏内・対藤沢市)

○ 藤沢市（藤沢駅・湘南台駅）より、30分圏内の私立学校が少ない

	駅名	学校数 (駅から30分程度※)	学校名
横須賀市	横須賀中央駅	3	関東学院六浦小学校、横須賀学院小学校、聖マリア小学校
	京急久里浜駅・ 久里浜駅	3	関東学院六浦小学校、横須賀学院小学校、聖マリア小学校
	追浜駅	5	横浜英和小学校、関東学院六浦小学校、横須賀学院小学校、清泉小学校、聖マリア小学校
藤沢市	藤沢駅	9	鎌倉女子大学初等部、清泉小学校、湘南学園小学校、湘南白百合学園小学校、日本大学藤沢小学校、平和学園小学校、聖マリア小学校、聖セシリア小学校、聖ステパノ学園小学校
	湘南台駅	9	横浜英和小学校、森村学園初等部、相模女子大学小学部、鎌倉女子大学初等部、湘南学園小学校、湘南白百合学園小学校、日本大学藤沢小学校、平和学園小学校、聖セシリア小学校

注「google map」より平日8:00学校着(2015/6/19)、35分までとして算出  
京急久里浜駅・久里浜駅は、所要時間の短い方の駅を起点として算出  
電車・バス・徒歩を利用し、所要時間の最も短いルートで算出

出所)神奈川県「神奈川県私立学校名簿」、各学校の「HP」、「google map」をもとに作成

## 【参考】私立学校数（県内市・平成27年4月1日現在）

市町村名	校種				合計
	高等学校	中学校	小学校		
横浜市	38	31 (2)	11		80 (2)
川崎市	6	6	4		16
相模原市	5	3	2		10
横須賀市	4	2	1		7
平塚市	1	1 (1)			2 (1)
鎌倉市	6	6	2		14
藤沢市	9	6	3		18
小田原市	3 (1)	2 (1)	1 (1)		6 (3)
茅ヶ崎市	1	1	1		3
逗子市	2	2	1		5
三浦市					
秦野市					
厚木市	1		1		2
大和市	2	1	1		4
伊勢原市	1				1
海老名市					
座間市					
南足柄市					
綾瀬市					

( )は休校数で内数

出所)神奈川県「神奈川県私立学校名簿」をもとに作成